

令和6年度 林野庁委託事業

新技術を活かした森林作業システム高度技能者育成研修のうち

育成研修（新技術高度技能者育成研修）のご案内

1. 研修の目的

本研修では、経営体の中で森林作業システムを比較検討する際の新たな選択肢が増えるように、**普及が進んでいる多くの新技術を紹介**します。

技術そのものの解説や活用事例の紹介等から、**新技術を木材生産現場に導入するためのヒント**を見つけて、それぞれの経営体に戻って活かしていただければと考えます。

◎ この研修は、次のような人に向いています

(組織体制の例)



新技術高度技能者

- ✓ 新技術を導入する目的を理解して、現場への普及を図る。
- ✓ データを取得し、共有できる。

提案

相談

連携



経営者

- ✓ 意欲と能力のある林業経営体として、生産性向上のため、新技術の導入が必要と理解する。



その他の現場技能者

- ✓ それぞれの役割に応じた作業を進めながら、新技術を活用する。
- ✓ データの意味を理解する。

※ 各林業事業体により、様々な組織体制（経営者が新技術高度技能者の役割を担う等）があります。

お問い合わせはこちら



一般社団法人 **日本森林技術協会**
Japan Forest Technology Association

〒102-0085

東京都千代田区六番町7

専用HP:<http://www.f-survey.jp>

電話：03-3261-5497

e-mail：ginouikusei@jafta.or.jp

研修の実施・受講等の手続き・案内については、ホームページをご覧ください

2. 研修の内容

- ◆ 新技術を活かした森林作業システムを実践するための基本的な考え方を学ぶ講義
- ◆ オープンソースのGISや作業日報等を活用した、これから始められる木材生産現場のデジタル化の事例紹介
- ◆ 新技術導入に向けた組織体制づくりのプロセスを習得

受講料は無料、研修教材（右図教材）を**無料で配布**



3. 受講生の参加資格

- **今後、経営体等において新技術導入の中心となる者**
- 所属する経営体における現状の森林作業システムを把握している者
- 実際の木材生産現場における森林施業を理解している者
- 労働災害補償保険の適用を受けている者（個人事業主は問わない）

※今後、新技術を導入し現場の課題解決を図るには、関係団体を含めた多くの参加が有効である。

4. 研修のカリキュラム（2日行程の場合）

日程	時間	内容
1日目	13:00～13:30	開講式、オリエンテーション、自己紹介
	13:30～16:00	【講義】：研修教材「新技術を活かした森林作業システム」
	16:00～17:00	【事例紹介】：「これから始める木材生産現場のデジタル化」の紹介 ① オープンソースを活用した木材生産の計画 ② 作業日報を活用した木材生産の管理
2日目	9:00～11:30	【グループワーク】：新技術導入に向けた意見交換
	11:30～12:00	アンケート記入、閉講式

5. 研修修了者からの声

- フリーソフトでも、工夫次第では色々な情報を知ることができることを学んだ。
- 自分で考えながら意見を出し合い、前向きな話ができた。
- 様々な考えを持った参加者と話ができ良かった。
- 色々な新技術があることを知ったので、メリットをもう一度整理し導入を検討していきたい。
- 木材生産現場の効率化につながるように新技術の導入を検討したい。
- 今回出た意見が、業界全体に広まって少しずつでも林業が変わっていくと良いと思う。